

総務経済常任委員会活動レポート

開催日時：令和 7 年 2 月 2 1 日(金)

開催場所：1・2 号委員会室

建設水道部

1. 除雪事業について

昨年 11 月から 2 月 17 日現在までの降雪量は、144 cm で例年の半分以下で推移しています。今般、予算の執行状況や除雪体制等の報告を受けました。

【主な質疑】

委員：除雪後も片側交互通行になる箇所がありますが、除雪の手順は？

担当：まずは車の通行を可能にするため、車一台が通れるよう新雪除雪し、その後幹線や交通量の多い道路など、状況に合わせて拡幅します。

委員：スクールゾーンの対応は？

担当：北海道が行う排雪とも調整しながら、できるだけ早めのカット排雪を行なっています。

2. 緑ヶ丘森林公園キャンプ場について

令和 6 年度に実施した電気・給排水工事等が完了し、公園内で新たに利用可能となる施設もあるため、施設の使用料の見直しを図ることが報告されました。

【主な質疑】

委員：フリーサイトは 1 人単価なのに、オートサイトやバンガローは区画や棟の料金設定なのは？

担当：フリーサイトは持ち込みのテント等で宿泊する人数分を徴収し、オートサイトやバンガローは 1 単位の基本料金に、2 人目以降の追加料金を徴収するものです。

3. 上下水道事業について

令和 7 年から 16 年度までの中標津町水道ビジョン・下水道中期ビジョンと、各企業会計毎に経営戦略の説明を受けました。

【主な質疑】

委員：スマート水道メーターの導入に工事は不要で、メーターのみの交換で済みますか？

担当：水道メーターは 8 年毎に交換するので、そのタイミングで導入します。

委員：民間への委託は？

担当：官民連携の検討はしていますが、どのような業務を委託すべきか等調査段階です。

委員：下水の汚泥を乾燥させて作る肥料の成分調査は？

担当：年２回実施し有害物質等が含まれないことを確認しています。

委員：埼玉県で道路陥没事故が発生しましたが、本町で下水管の危険箇所は何か所と認識していますか？また、点検等は実施しましたか？

担当：危険箇所は圧送管の吹き出し口や落差の大きいところなど１８か所と認識し、５年に１回点検しています。事故の後、国土交通省から点検の通達はありましたが、本町の規模は点検の対象外となっているため、例年のカメラ検査を実施します。

４．町有財産の管理について

町が所有する未利用地２か所で、利活用の方向性の参考とするため、この未利用地を活用する意向のある民間事業者から提案を募る予定であるとの報告を受けました。

【主な質疑】

委員：当該未利用地の一つは現在駐車場として利用されていますが、駐車場がなくなると周辺の飲食店や利用者は困るのでは？

担当：駐車場のニーズも含めて、提案を募りたいと思います。

委員：商工会や飲食業連合会等への個別の周知は？

担当：３月３日に公表し広く民間の案を募集しますが、商工会等にも声かけする予定です。

委員：昨今、外国資本が日本国内で不動産を購入するケースが増えています。もしも外国の事業者が参入を希望した場合、本町の姿勢は？

担当：外国資本を除外するとはなっていませんが、入札条件は日本国内に住所を持つ法人または個人となっています。

総 務 部

１．中標津町と株式会社ネオキャリア及び株式会社ふるさと開拓ラボとの包括連携協定について

持続可能な地域社会の発展、新たな地域活力の創出に寄与することを目的に、三者間で包括連携協定を締結したことが報告されました。

当面は、地域活性化起業人として着任した木下氏の知見を活用し、地域課題やニーズの調査分析、町内移転後の株式会社ふるさと開拓ラボとの官民連携による事業、運営協力により地域活性化活動に取り組むとされています。